

ある町の天気相談所

Vol.34
2020.10.2

令和2年10月号

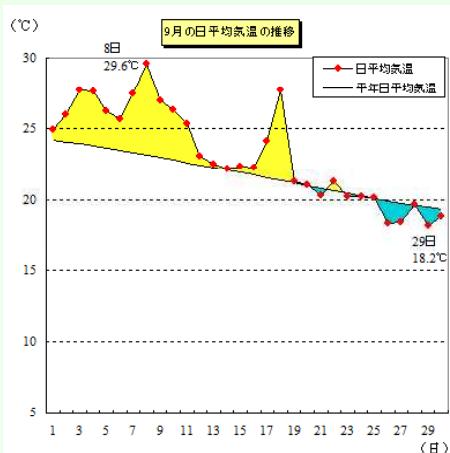


中秋の名月
10月1日（木曜日）は、太陰太陽暦での8月15日にあたり、「十五夜」でした。翌2日の朝が満月となるため、ほぼ満月の丸いお月様が見られました。ただ、雲がやや多く、ときおり雲に隠れてしまう時間もありました。今年の「十三夜」は10月29日（木曜日）になります。



9月の気候

9月の月平均気温は23・2℃と、平年よりかなり高くなりました。18日の最高気温34・5℃は9月として4番目に高く、真夏日は9月として3番目に多く、8日の最低気温26・6℃は、9月として最も高い最低気温を観測するなど、中旬にかけて高く推移しました。月合計日照時間は138・3時間と平年並み。月合計降水量は123・5ミリと、平年の69%にとどまりました。



1ヶ月予報（気象庁発表）

10月は、天気は数日の周期で変わり、はじめは、平年に比べ晴れの日が多く、気温は「平年より高い」見込みです。降水量は「平年並みか少ない」、日照時間は、「平年並みが多い」予想です。



天気相談所のあゆみ

行政放送番組である「日立の気象と天気予報」は日立の気象の特徴や注意点をまとめた番組で2011年（平成23年）の6月に最初の放送がされてから、2019年度までに38番組が制作され、再放送も含め、毎月放送しています。

番組の内容としては、日立市天気相談所の70年に迫る観測結果から言える特徴を、一般的な気象の現象や用語の解説の中に入れるなど、日立市ならではの特徴が入るように作っています。

最近は、気象の特徴を、山や海などの地形の視点から捉えたり、クイズ形式にしたりしていながら、日立シビックセンターの科学館やかみね動物園とコラボレーションし、わかりやすい番組づくりを心がけています。

また、2019年（平成31年）4月からは、「ひたちホットニュース」の中で「お天気豆知識」も月1回放送しています。

10年以上番組制作が続けられるのも、行政放送を担当している歴代の広報戦略課の方々の御協力の賜物です。



天気用語の基礎知識

地上における、実際に観測された気圧のうち、同一の気圧の点を線で結び（等圧線）図示した、実況天気図は新聞やテレビなどで見る機会は多いですが、高層天気図や数値予報天気図などの種類もあります。高気圧や低気圧、前線などの位置を把握することができるとほか、等圧線の間隔やくびれ方などからも、天気の様子を想像することができます。天気予報の基礎的なデータのひとつです。

神峰の山から

東京大手町にある気象庁内に書店があるのですが、気象庁の虎ノ門への移転に伴い、閉店するというニュースをみました。約20年前、気象予報士の勉強のための参考書を、普通列車に乗って、買いに行きました。今では、インターネットなどで、専門的な本も買えるようになりましたが、当時は、ネット書店もなく、近くの書店に頼むにしても本の名前もわからぬような状況でした。お金もなかつたため、ネット書店もなく、専門書から、中身を見て、厳選して買った思い出があります。